

「第7回 小樽市雪対策基本計画策定 懇話会」意見交換内容（概要版）

日時：令和2年11月13日 14：00～14：30

場所：市役所別館3階第2委員会室

出席者：委員11名

オブザーバ：2名

傍聴者：1名

事務局：4名

○：委員からの意見等

→：事務局の意見等

()：補足説明

1 原案等について

- P30 雪を活用する工夫の1行目で、全国的な「雪山」の活用事例の表現は、「雪」の活用事例として、「雪山」を「雪」に変更した方がよいと思います。

→ 「雪山」を「雪」に修正します。

2 補足説明（事務局）

- 計画の進行管理は、「PDCA」サイクルで見直しを行いながら進行管理を行ってまいります。今後、社会環境の変化や、財政状況、人口減少、人材不足などを勘案しながら、この計画を進めたいと考えております。

3 会長挨拶（副市長）

皆さんからの御意見が無ければ、この計画案を、第4回定例会へ報告したいと思います。

昨年7月から長い期間にわたり、皆さんに熱心に御議論いただき、雪対策基本計画案が出来上がりました。

この計画は、中・長期に取り組んでいくものですが、どの計画も作る事が目的ではなく、計画を一つの指針として、実際の雪対策、冬の生活を守っていく計画につなげていきたいと思っております。

また、自然相手の冬の対策ですので、ここ2年は雪も少ない年でしたが、大雪の年は、また新たな課題等が見えてくると思っております。

今年のように、コロナ禍が中々収まらない中での除雪ステーションの体制、委託業者感染時の対応等課題は多いですが、市役所と除雪対策本部が一丸となって取り組んでまいりますので、皆様の御協力をお願いしたいと思います。

長期間にわたり、御協力をいただき、本当にありがとうございます。